

# 新井リゾート、上綱子土地購入でただす

## 8月9日、臨時議会開く

8月9日、臨時議会が開かれました。議題は、10年ほど前上綱子に産業廃棄物処理施設の建設問題が持ち上がり、17万余の署名で建設を断念させたその跡地を水道水源保全用地として購入するという問題と、倒産した新井リゾートに管理を委託していた板倉区光ヶ原の三施設の管理を市の直営に戻すという問題の二つです。

私が日本共産党議員団を代表して、総括質疑を行いました。

### 上綱子の土地購入

合併した13区の議員の皆さんには経過が解らない人もいると思い、発端から経過を話しました。谷浜地区の町内会がこぞって反対に立ち上がり、上越市、議会を巻き込み、水道用水が供給される町村にも運動を広げて17万を超える署名を集めたこと、それが力になって業者を断念に追い込んだことなどです。

党としては、桑取のゴルフ場を断念させた跡地(今、湯ったり村や市民の森になっている)の購入を提起した経緯があります。西部中山間地は上越市の水がめですから、必

要な措置の一つと考えています。二人の議員が購入に反対しました。

### 新井リゾート問題

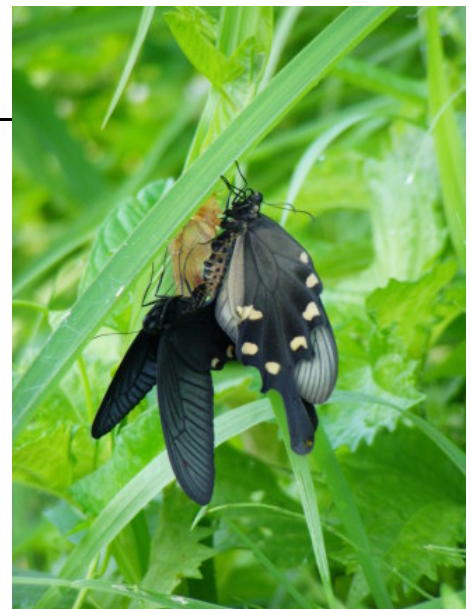
「指定管理者」が倒産したというのは、おそらく全国始めてのことです。市の施設の管理を民間にお願いする委託制度、特に「指定管理者制度」はいろんな問題を含んでいますが、それが吹き出した感じですよ。

条例で「管理は指定管理者」と決めていまして、倒産したからといってすぐに直営に戻せないのです。条例の整備だけでなく、実際に管理できる人がいない(そういう職員を置かないのがこの制度の本質です)からです。今回の場合でも、このかきいれ時にレストランなどが閉鎖したままです。

「条例の整備を」と決めましたが、それだけでは対応できない問題だと思えました。「民間のノウハウを生かす」というのは、口ではたやすいことですが、実際には難しいし、リスクも大きいということも明らかになった事件です。

早朝配達途中、草むらで黒い蝶がフワフワと飛んでいるのが見えました。何とジャコウアゲハでした。この蝶にお目にかかるのは、大学生時代以来ですから40年ぶりです。うれしくて写真を撮ってきました。

羽化したばかりのメスに、待っていたオスが交尾しているところ。上のメスと下のオスの間に蛹の抜け殻があります。



日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

## 市政レポート

2006年8月13日 112  
発行 杉本敏宏事務所  
上越市東本町5丁目1番38号  
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832